

展開する事業群(3-2-4)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	生活環境の整備による子育ての支援
基本施策分野		子育てバリアフリーの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	20年度実績	19年度実績	18年度実績	17年度実績
都市施設・公共施設のバリアフリー化とユニバーサルデザインの促進	公共施設等のバリアフリー化 (「交通バリアフリー法」や「京都府福祉のまちづくり条例」等に基づき、既存都市施設や公共施設のバリアフリー化を計画)	建設部政策推進・安心まちづくり	H17～21		道路の新設・改良にさいしては、バリアフリー化を進めた。	道路の新設・改良にさいしては、バリアフリー化を進めた。	道路の新設・改良にさいしては、バリアフリー化を進めた。・安心まちづくり室18年度より実施予定
	ユニバーサルデザインの導入促進( ) (新たに整備する施設にあっては、ユニバーサルデザインの導入を推進)	建設部政策推進室	H17～21	新たな公共施設については、ユニバーサルデザインに配慮した。	新たな公共施設については、ユニバーサルデザインに配慮した。	新たな公共施設については、ユニバーサルデザインに配慮した。	新たな公共施設については、ユニバーサルデザインに配慮した。
福祉のまちづくりの推進	道路整備 (市道補修の際は、子どもやベビーカーに配慮し、必要な箇所に段差の解消、細目グレーチングの使用、危険箇所の転落防止策の設置)	施設整備	H17～21	新田辺駅前広場歩道改良 A = 440㎡ (草内美泥排水路整備に伴う歩道整備 L = 39m) 打田高船線ガードレール設置 L = 13m 興戸三山木線歩道整備 L = 21m 山手幹線自転車道サイン工事 L = 30m	新田辺駅前広場歩道改良 A = 538㎡ (草内美泥排水路整備に伴う歩道整備 L = 120m) 多々羅宮ノ口線道路改良 ガードレール設置 L = 52m	新田辺駅前広場歩道改良 A = 750㎡ 新田辺駅前線歩道切り下げ L = 10.9m (草内美泥排水路整備に伴う歩道整備 L = 37.9m)	茶屋前外島線防護柵設置、大穴1号線防護柵設置、長尾谷4系線防護柵設置、池ノ端大住ヶ丘線防護柵設置、新田辺駅前広場歩道改良整備等を行った。
		施設管理		道路維持修繕工事(転落防止柵設置) 市道大伏都塚線 L = 21.0m 市道草内新線 L = 9.6m 市道草内馬橋線 L = 2.3m 市道出垣内多々羅線 L = 6.9m			
	住宅整備 (市営住宅建設に当たっての配慮)	計画建築課	H17～21	該当なし	該当なし	該当なし	市営三山木団地 1棟(N = 30戸)にエレベーターを設置した。
まちづくり事業での配慮 (三山木地区特定土地区画整理事業関係)	鉄道高架並びに公共施設(公園等)の整備改善と宅地の利用増進	三山木整備	H17～21	・家屋移転対象戸数153戸のうち、137戸が完了した。 ・家屋移転進捗率89.5パーセント	・平成20年3月17日 三山木駅前広場完成。 ・1号、3号公園完成。平成20年5月供用開始。	・平成19年3月20日 三山木駅前広場暫定供用開始。	近鉄京都線三山木駅付近線路高架工事は、平成17年8月に奈良行き高架線切り替え完了し、高架新駅舎の供用を開始した。
				・仮換地指定率 87.1パーセント ・使用収益開始率 53.3パーセント	・家屋移転対象戸数153戸のうち、130戸が完了した。 ・家屋移転進捗率85.0パーセント	・家屋移転進捗率75.8パーセント	家屋移転対象戸数153戸のうち、112戸が完了した。・家屋移転進捗率73.2パーセント
	街路事業、公園事業、高質空間形成施設整備事業、地域生活基盤施設整備事業、都市再生土地区画整理事業	三山木整備	H17～21	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。	早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。
				・仮換地指定率 82.2パーセント ・使用収益開始率 39.9パーセント	・仮換地指定率 73.2パーセント ・使用収益開始率 31.8パーセント	・仮換地指定率 66.9パーセント ・使用収益率 28.4パーセント	

ユニバーサルデザイン まちづくりや商品のデザインなどについて、能力あるいは障害のレベルにかかわらず、すべての人が利用しやすいデザインを最初から取り入れる方法